

1. 前期計画の評価

(1) 計画の重点目標に対する評価

重点目標1：壮年期のがん死亡率の低減

〇がん部位別（75歳未満のがん年齢調整死亡率：人口10万対）の目標

| 指 標 | 性別 | 75歳未満 | | | 壮年期(40～64歳) | |
|-----------------------------------|----|--------------------|----------------|-----------------|--------------------|-----------------|
| | | 計画策定時 (H18～22年) | 目標値 (H29年度) | 現状 (H23～27年) | 計画策定時 (H18～22年) | 現状 (H23～27年) |
| 全がん（75歳未満）による 年齢調整死亡率（人口10万対） | 男 | 92.8 | 79.8 | 75.8 | 142.9 | 68.2 |
| | 女 | 64.0 | 40.9 | 102.0 | 149.5 | 118.6 |
| 胃がん（75歳未満）による 年齢調整死亡率（人口10万対） | 男 | 17.4 | 14.9 | 1.7 | 38.6 | 0.0 |
| | 女 | 10.0 | 1.8 | 6.2 | 22.0 | 14.7 |
| 肺がん（75歳未満）による 年齢調整死亡率（人口10万対） | 男 | 17.2 | 12.7 | 24.6 | 12.8 | 17.6 |
| | 女 | 3.2 | 3.2 | 5.6 | 6.3 | 12.0 |
| 大腸がん（75歳未満）による 年齢調整死亡率（人口10万対） | 男 | 6.9 | 2.6 | 5.2 | 6.5 | 5.3 |
| | 女 | 3.5 | 3.5 | 5.6 | 7.3 | 8.7 |
| 肝臓がん（75歳未満）による 年齢調整死亡率（人口10万対） | 男 | 5.4 | 5.4 | 8.6 | 10.2 | 10.5 |
| | 女 | 16.9 | 14.2 | 10.7 | 43.2 | 8.7 |
| 子宮がん（75歳未満）による 年齢調整死亡率（人口10万対） | 女 | 2.4 | 1.8 | 8.3 | 7.3 | 25.5 |
| 乳がん（75歳未満）による 年齢調整死亡率（人口10万対） | 女 | 4.6 | 0.8 | 19.8 | 10.6 | 25.5 |

①75歳未満年齢調整死亡率は、男性の全がんと胃がん、女性の肝臓がん以外は目標値に達していない。

②壮年期(40～64歳)の年齢調整死亡率は、肺がん・子宮がん・乳がんが計画策定時よりも悪くなっている。

重点目標2：がん患者及び家族が安心して治療、療養生活を送るための、身近で相談できる拠点づくり

〇がん情報提供促進病院（公立邑智病院）を拠点とした相談支援体制の充実

①邑智病院内での体制づくりとして、緩和ケアチームによる医療情報の提供や、患者・家族の相談・支援という点では十分に活動できなかったが、医師と相談しながら患者さんに寄り添っていくことを第一に考え、「おおなん元気サロン」への支援（出前講座による医療情報の提供や看護師による相談等）を中心に行ってきた。

②最近では、急性期病院からの連携パスが少しずつ送られるようになり、大きな病院での定期受診の間のフォローを行うようになってきている。また、連携パスにより、がん患者さんに関わる機会が増えてきたこと、緩和ケアチームが立ち上がったこと等、相談支援体制が少しずつ整いつつある。